

平成 30 年度第 2 回奈良市食育推進会議録（抄）

開催日時	平成 31 年 3 月 5 日（火）午後 2 時 00 分から 15 時 30 分まで	
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 9 階 9-1 会議室	
出席者	委員	出席委員 12 人（欠席委員無し）
	事務局	6 人
開催形態	公開（傍聴人 1 人）	
担当課	健康医療部保健所医療政策課	
議題	1 平成 30 年度食育推進事業報告 2 第 3 次奈良市食育推進計画（案）について 目標値及び関連する事業の検討 3 各団体及び市の今後の取組について	

議事の概要及び議題・主な意見等

1. 平成 30 年度食育推進事業報告

奈良市食育に関する意識調査の結果概要、奈良市食育推進会議、食育月間における食育啓発事業、食育コラム、食育カフェ、市民フォーラム、食育イベント、食育講座等について事務局から報告。

2. 第 3 次奈良市食育推進計画（案）について

事務局から説明

- ・前回会議からの変更点について
素案 4 ページ理念は 1 次 2 次から変更しない方針。
素案 5 ページ計画期間は前回 5 年間となっていたところが今後市の総合計画と期間をあわせるために 2 年間に変更となっている。
素案 9 ページ「ならの食育未来ワークショップ」について追加。
- ・特に確認していただきたい箇所について、素案 15 ページ各種指標および目標値。
- ・素案 16 ページの国・県の数値との比較ができるように資料を追加した。
- ・新しく追加している指標について
料理や食事の用意などのお手伝いをする子どもの割合（週 1 回以上）、低栄養傾向の高齢者の割合、認定農業者数、食育の推進に関わるボランティアの数、奈良市食育ネット参加団体の数。
- ・素案 22 ページ「行政事業と施策の目標一覧」について、新たに「農」に関する事業を追加した。（地域おこし協力隊、プチ田舎暮らし、出張メルカート）。高齢者の食支援・介護予防事業、配食サービス事業、糖尿病相談窓口についても確認いただきたい。
- ・地域のとの連携事業で足りていないものは指摘いただきたい。
- ・「食べることは、生きること」は計画内に入れる予定だったが方針を変更し、別の啓発冊子として活用する。

（委員からの主な意見）

- ・素案 16 ページ「学校給食における奈良市産の食材を使用する割合」について、国や県の現状

値が高いが、奈良市の数値は原材料のすべてを分母に入れたものではなく、野菜と肉に限定した数値になっている。一般的な地産地消率、加工品等が入っていない。計算の仕方の違うものを比較するのはどうかと考える。比較するのであれば、計算方法をそろえたものが良い。

・朝食を毎日食べる子どもの割合について、国・県は「全国体力、運動能力、運動習慣等調査」の結果である。これについても併せることができるなら合わせたほうが良いと思う。

・今後の評価する方法について、同じ条件でアンケートをとる予定はあるか？

⇒あくまで参考値とした方がいいのか、比較できるデータがあるのなら、採用したほうが良い。そのすみ分けをどうするかは考えたほうが良い。

⇒今後担当部署と調整し、この目標値をそのまま採用するのか参考とするのか、協議する。

・素案 18 ページの食育ネットの運営について、「他自治体」はどこを想定しているのか。他自治体のネットワークなどが良いのでは

⇒全国にある同じようなネットワークとの協働を想定している。訂正する。

・素案 14 ページの意識調査の分析について、いきなり意識調査の分析が記載されているが、分析を載せる前に調査の説明を簡単に入れたほうが良いのでは。

⇒修正する。

・「料理や食事の用意などの手伝いする子どもを増やす。具体的に高校生の数値を上げていくためにどういった対策をとっていくか教えてほしい。」

⇒課題があるのが認識された段階。具体策はこれから検討したい。結果は奈良県と市教育委員会、各高校へフィードバックを行った。市としてはこれまでなかったデータがとれた。この結果を学校の先生たちに共有してもらおう。行政だけで解決はできない。意見交換会などをして、何ができるのかをさぐっていききたい。

・素案 52・53 ページ「食品の安全性」知識をあげるために市としてどう取り組んでいくのか。

⇒今年度は1月に市と消費者庁が共催で「食の安全フォーラム」を開催した。参加者を対象にしたアンケートで、参加前後でどのように変化があったかを確認しているところ。フォーラムについては毎年開催できるとは限らないので、ホームページなどを活用した周知を図っていきたいと考えている。素案 26 ページ生活衛生課「食の安全性の情報発信」には、まちかどトークなどを開催し広報活動を行っていくと記載している。

・計画が5年から2年に変わったが、今後のスケジュールは。

⇒総合計画が平成 32 年度で終わり第 5 次計画がスタートする。同時に食育も第 4 次としてスタートする予定。総合計画は 10 年計画であるが、食分野は 5 年間で変化が大きいこと、国の計画が 5 年のため計画期間はこれまでどおり 5 年間とする予定。国の計画が平成 32 年度で終了するので、市の計画も同時に終了となる。ただし、国の次期計画の動きを読むことができないので調整は必要。

・「古都ならの日」が漢字のものが混在しているので、表示を合わせるように。

⇒修正する。

(事務局) 近日中にパブリックコメントを募集する。会議後日でも意見があればお願いします。

3. 各団体及び市の今後の取組など

市の事業について

- ・基本的には第3次計画にそってそれぞれの部署で取り組む。庁内では連携をとっていく。
- ・市の事業として食育フェスタを10月26日～27日近鉄ラクダ広場で検討中。奈良市の主催ではないが、同日に「弁当の日」の開催も調整している。
- ・市だけで目標値が改善するのは難しいので、関係団体と協力してやっていきたい。
- ・単に講演して終わりではなく、ワークショップなど市民参加型のものを年一回はできるようにしていきたい。
- ・奈良市食育ネット総会について、6月に公開で開催の意向である。
- ・2次計画では参加がなかった福祉関係の部署が庁内連絡会に参加している。高齢者への食育も啓発していきたい。
- ・災害時の食のニーズが高まっていることを受け、基本方針に安心というワードを入れた。市としても積極的に情報発信をと思っているのでご協力をお願いしたい。

団体からの意見

- ・帝塚山大学シニアサポート HARU へ、包括支援センターから問合せが増えている。栄養士会とのすみわけを考える必要性を感じている。
 - ・特に感じているのが子供たちに対する食育。食の大切さについて、学校でどのような取り組みが行われているのか知りたい。ネットワークを利用して協力していきたい。
- ⇒奈良市教育協議会食育推進部会で作成された平成30年度食育推進の実践報告事例集を確認いただく。年に1回作成され、各学校で共有されている。学校によって内容は異なり、体験的なプログラムもあり、様々な形で実施されている。生産体験は食育の効果が高いので、道德・英語・総合的学習の時間もありスケジュール調整が難しい現状はあるが取り組みが広まってほしい。
- ・食育イベント「弁当の日」について、10月27日を予定。食育ネットや他の団体に協力を依頼したい。学校などへ広めていくために何かアドバイスいただければ。
- ⇒奈良県内で初めて実施されたのは田原本。なかなか広まっていかない。まずは学校全体で取り組む体制づくりが大事。弁当の日とはうたわずに、家庭科の中でされているところもある。給食を止めるのは難しい。一条高校、調理実習が単位制であり実施された実績がある。ターゲットの年齢をあげていくのも一案である。
- ・様々な団体が積極的に取り組まれている状況であることがわかった。第3次に向けてもこのような体制で取り組むことが大切と思う。

その他素案に関すること

- ・素案6ページに福祉関係の課がまだ入っていない。
- ⇒追加する。
- ・食育推進会議の説明が庁内連絡会議の説明になっている。
- ⇒訂正する。

資料	<p>【資料1】 奈良市食育推進会議 委員名簿</p> <p>【資料2】 平成30年度食育推進事業報告</p> <p>【資料3】 第3次奈良市食育推進計画（素案）</p> <p>【資料4】 食育啓発冊子「食べることは、生きること」</p> <p>【資料5】 平成30年度食育推進の実践報告事例集（奈良市教育協議会食育推進部会）</p> <p>【資料6】 奈良市食育ネット参加団体紹介カード</p> <p>【資料7】 平成30年度奈良市食育コラム</p> <p>【資料8】 奈良市立学校給食献立表（小・中学校）</p>
----	--